

カルルス山南峰(1060m)・スキー班

日程 2021年1月10日(日) 晴れ時々薄曇り 微風 パウダースノー

参加者 CL 藤木(晴)

A 班 L 西田(芳)、SL 澤田、長沼、水江、門馬、太田、八重樫

B 班 L 小山内、SL 相馬、笹山、宇田、酒井、藪中、増川

8:25 サンライバスキー場出発。気温は低いが風はなく寒さを感じない。雪質は上々だ。

9:30 485 付近から藪に入る。藤木リーダーの事前の偵察では10 本松の丘あたりまでの藪が濃く、てこずるとのことで覚悟していたが、その後の降雪により幾分よくなったようだ。それでも悪戦苦闘しながら藪地帯を抜ける。

9:50 10 本松で休憩をとる。

10:42 870 付近の特徴的な3本のダケカンバから進路を左へ変える。下山を考えてところどころにピンクテープでマーキングしながら進む。時折目指す尾根筋が見えてきた。来馬岳の姿も徐々に大きくなってきた。この角度から望むのは初めてだ。

11:30 1024 付近。歩き始めて3時間経ち、疲れがたまってきたメンバーもいたため、下山のことも考えて撤退することになった。



林道を行く



藪漕ぎ

下山開始。各々パウダースノーを堪能。大満足の滑り。

12:05 10 本松付近に到着。風もなく日差しもあるため寒さは感じない。コロナ対応も考慮して、ツェルトなしで昼食休憩。

12:40 下山開始。途中の藪に時間を取られたが、雪質はよくスキーはよく滑った。

13:30 スキー場到着。

今シーズンは年末から低温が続き雪質はよかったが、思ったより積雪量がなく、また笹が十分に寝ていないこともあり、藪に少々てこずった。

それでも、リーダーの事前の偵察のおかげでスムーズなコース取りができ、感謝。

また、広い尾根上では経験者に頼ることなく、先頭を交代しながらコンパスで進路を確認する訓練もでき、いい経験になった。

記録 水江



藪地帯を抜け一服



上部の雪質は上々



軽いラッセルが続く



全員大満足